

■「サンヤレ踊り」を知ろう～地域に誇りをもって～（矢倉小学校）

1 【活動の趣旨】

矢倉の「サンヤレ踊り」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことをきっかけとして、全校が地域に受け継がれている伝統芸能について知る機会を作り、自分たちの地域に誇りをもてるような取り組みを行った。

2 【特徴的な活動内容】

「矢倉サンヤレ踊り」について知ろう（全学年）

「矢倉サンヤレ踊り」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことをお祝いして、サンヤレ踊りを伝承されている居住組さんに来ていただいて、踊りを見せていただいた。また、実際に「サンヤレ」という囃子詞を唱えたり、うちわをもって踊りを踊ってみたりしながら、祭りについて知ることができた。



【サンヤレ踊り】

3 【実施に当たっての工夫】

1部が1、2、3年生、2部が4、5、6年生に分かれて、分散して行った。

踊りを体験する場面では、代表の児童2～3人が衣装を身につけたり、踊り手さんが打ち鳴らす楽器に合わせて学年ごとにその場で踊ったりし、臨場感が味わえるように工夫した。



【踊りの体験】

4 【事業の成果】

- ・今回初めて居住組さんの協力を得て、サンヤレ踊りを学校で見せていただきサンヤレ踊りを見たり、体験したりすることで理解が深まった。
- ・振り返りの学習では、自分たちが受け継いでいきたいという思いをもつ児童もいた。
- ・教師も矢倉の祭りや歴史について知るよい機会になった。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

居住組さんは、これからはサンヤレ踊りをより多くの方に知ってもらい、広めることで地域の伝統を守ってほしいという思いを持っておられる。今回だけに終わらず、今後も続けていけるよう、コーディネーターが間に入り、スムーズに計画や実施ができるように努めたい。